

病院でお使いになる場合

ソネット君・ワンタッチコール 使用における注意事項

ソネット君は「ナースコール代わり」としてのご使用は推奨しておりません。「ナースコールの補助」としてお使いください。

電波について

- ソネット君は特定小電力426MHz帯の電波を使用しています。
ワンタッチコールは特定小電力429MHz帯の電波を使用しています。
- 本製品は通信機器です。医療用機器ではありません。
- 無線の特性上、お使いになる環境によっては使用できない場合がありますので、事前に販売店にご相談ください。

電波干渉について

- 無線機器のため同じ周波数帯を使う機器の電波干渉に注意してください。
- あとから同じ周波数を入れる場合、同じ周波数に設定しないように気を付けてください。通信に影響が出ることがあります。
- 導入後に、機器を動かすと安定して受信できない可能性があります。
- 導入後に、壁や扉を造ったり、レイアウトを変更した場合、電波の環境が変わり安定して受信できない可能性があります。
- 電波は、木やガラスのように電気を通しにくい性質のものは通り抜けますが、金属のように電気を通しやすい性質のものには反射・吸収されます。ポケットや機器を握りしめるようなことでも電波に影響します。

定期点検について

- 定期的な機器の送受信チェック、環境調査が必要です。
- 他通信機器の導入時、設定変更時にも送受信チェックを行ってください。
- ソネット君送信機は電池駆動です。1年半～2年に一度、電池交換を推奨しています。
- ソネット君5棒受信機に電池切れお知らせ機能がございます。併せてご確認ください。（ソネット君取扱説明書P.23 電池切れ確認のページをご確認ください）

その他

- 無線の到達距離は、使用場所・建物の構造等、環境によって異なりますので、ご使用前に通信状況を必ず確認してください。
- 本製品はペースメーカー装着の方や医療機器への影響はありません。
(ただし、データ転送の電波干渉にはご注意ください。)
- 当社の機器は技術基準適合証明を取得しています。
- 分解・改造することは法律で禁じられています。
- 電波についてより詳しく学びたい方は、総務省「電波利用ホームページ」 (<http://www.tele.soumu.go.jp/>) 等を参照してください。

免責

- 本製品は通信機器です。医療用機器ではありません。
また、安全を保証するものではありません。
- 本製品の用途は、入院患者の方や介護者の方が、従業員を呼ぶため、もしくは従業員同士の連絡で使用します。
- お知らせに気づかなかったり、対処されなかった場合に発生する事件事故に責任を負うものではありません。
- 通信状況や設置環境、その他の原因で発生する事件事故に関して責任を負うものではありません。

設置の注意：電波を遮へいしやすい建築部材

部位	建築部材	電波を遮へいする性能	備考
外壁	鉄筋コンクリート	中	鉄筋コンクリート造の外壁
	ALCハネル・押出成形セメント板	中	鉄骨造の外壁
	カーテンウォール(PC版)	中	鉄骨造の外壁
	金属カーテンウォール	中	鉄骨造の外壁
	金属断熱サントイッチハネル		
	ガラス窓(フロートガラス)	低	外装窓
	ガラス窓(Low-eガラス)	低~中	外装窓
床	鉄筋コンクリート(テツキフレート下地なし)+床仕上	中	鉄筋コンクリート造の床
	鉄筋コンクリート(テツキフレート下地あり)+床仕上	中~高	鉄骨造の床
内装壁	軽量下地+ボード貼	低	診察室、検査室、病室、手術室、トイレなど
	軽量下地+鉛貼り石膏ボード	中	X線検査室、RI室、心カテ室、放射線治療室、手術室など
	スチールパーティション	中	ICU、HCU、医局など
	電磁シールド	高	MRI検査室、脳波検査室など
	鉄筋コンクリート	中	エレベータシャフト、機械室など
	鉄製扉 SD、LSD(窓なし)	中~高	診察室、検査室、病室、手術室、トイレなど
	鉄製扉 SD、LSD(窓あり)	低~中	診察室、検査室、病室、手術室、トイレなど
天井	鉄筋コンクリート(テツキフレート下地なし)+床仕上	中	鉄筋コンクリート造の天井(構造)
	鉄筋コンクリート(テツキフレート下地あり)+床仕上	中~高	鉄骨造の天井(構造)
	軽量下地+ボード貼	低	診察室、検査室、病室、手術室、トイレなどの天井(仕上)
	電磁シールド	高	MRI検査室、脳波検査室など
その他	金属製什器、キャビネット	中	スタッフステーション、医局など

● 電波の特性

電波は、木やガラスのように電気を通しにくい性質のものは通り抜けますが、金属のように電気を通しやすい性質のものには反射・吸収されます。人体も機器に影響し、機器をポケットの中に入れてたり機器を握りしめるようなことでも電波に影響します。

● 電波の減衰

同じ送信出力では、周波数が低いほど減衰は小さく伝搬距離は長くなります。

● 主な400MHz帯の通信機器（医療機関用）

- ・ 医用テレメータ（心電図等の生体信号の伝送）
- ・ 植込み型心臓ペースメーカー等のデータ転送
- ・ その他無線呼出し用

※遮へい性能：低=10dB未満、中=10dB~30dB程度、高=30dB以上



安心・安全に電波を利用するために。

トラブルと対策のチェックポイント

- **電波が届かない**
 - 定期的な受信エリアの確認・記録
 - 中継機の電源チェック
- **混信（チャンネル設定）**
 - 他機器無線チャンネル管理（使用周波数一覧作成）
 - 電波管理責任者の設定・担当者の設定
- **送信機の電池切れ**
 - 電池残量マークの確認（5枠受信機側）
 - 電池の定期的な交換（1年半～2年に一回）

- ◆ **分解・改造の禁止**
- ◆ **設定変更・設置場所変更の禁止、連絡**

※電波についてより詳しく学びたい方は… 総務省「電波利用ホームページ」 (<http://www.tele.soumu.go.jp/>) 等を参照してください。